

最もハイリスクな12種類の ネットワーク接続デバイス

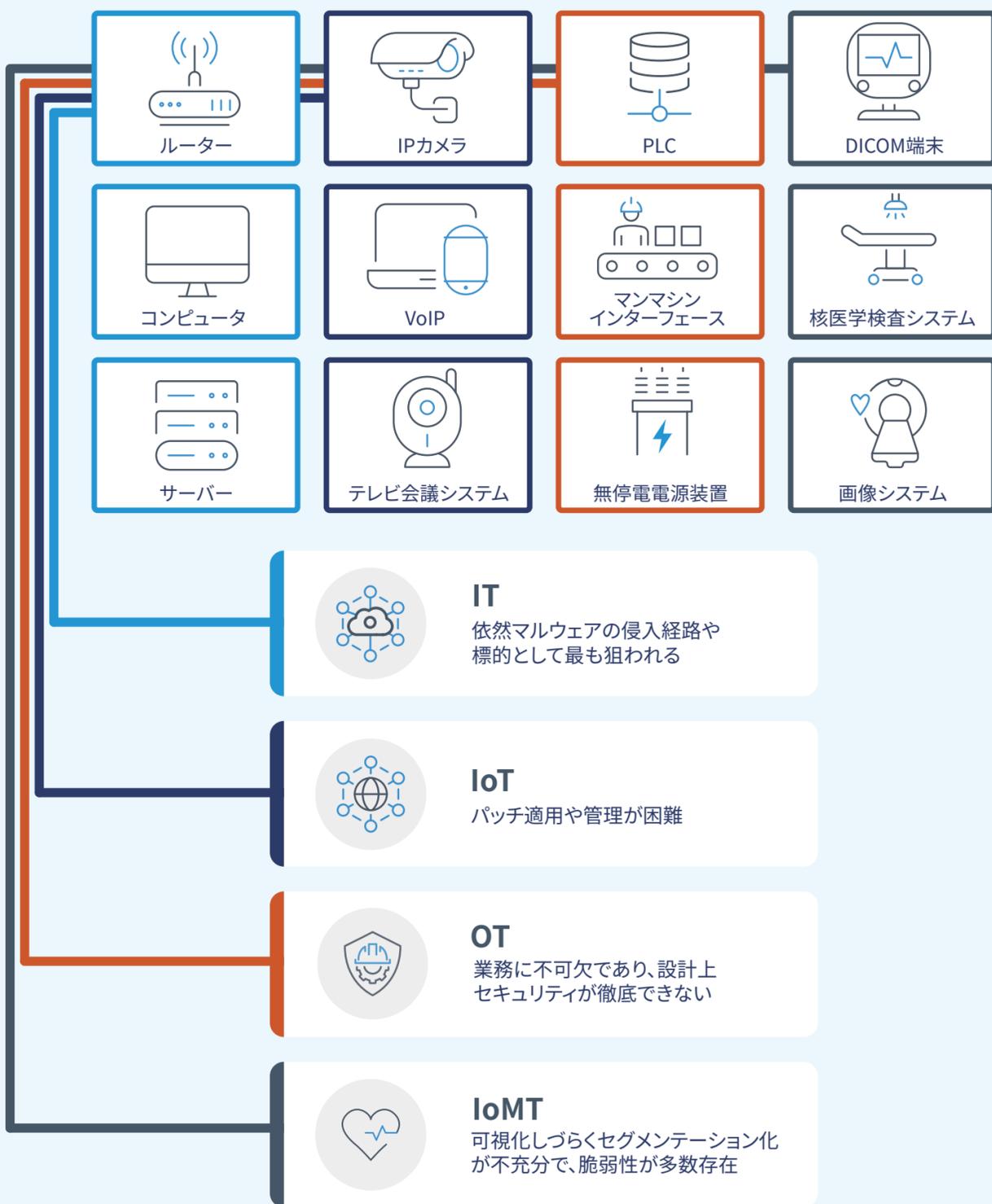
今や業種を問わず**ほぼすべての組織**で、IT、IoT、OTまであらゆる環境が攻撃対象領域となっています。ヘルスケア業界ではIoMTもその対象となります。サイバー攻撃者はカテゴリの異なる複数のデバイスを攻撃することもあり得るため、特定のカテゴリの高リスクデバイスに特化した保護では**不十分**です

攻撃された時に、デジタル環境への**リスクが最も大きい資産**はどれですか？



ネットワーク接続されたエンタープライズデバイスデータのリポジトリとして世界最大級を誇る**Forescout Device Cloud**の中から、Vedere Labsは**1,900万件**近いIT、OT、IoT、IoMTデバイスのデータを分析しました。

エンタープライズネットワークでよく見られる 12のハイリスク接続デバイス



3つの要素からリスクレベルを算出する Forescout Platformの 多要素リスク評価手法で分析

設定

デバイスに存在する脆弱性の数と深刻度、およびオープンポートの数と重要度

ふるまい

デバイス発着のインバウンド/アウトバウンド接続のレピュテーションおよびインターネット接続によるリスク

機能

デバイスが侵害された場合に組織が被る影響の大きさ

$$\text{リスクレベル} = f \left(\begin{matrix} \text{検出された} \\ \text{リスク指標} \end{matrix}, \begin{matrix} \text{デバイスの} \\ \text{重要度} \end{matrix} \right)$$

貴社のセキュリティチームは準備万端ですか？

デバイスデータの完全版、詳細リスク分析、セキュリティに関する推奨事項については「Riskiest Connected Devices Report」をご覧ください。

レポートをダウンロードする